



拝啓

寒さも徐々に鳴りを潜め、春の訪れを感じられるようになりました。
いっそう新たな生活への期待が膨らみます。

このうららかな春に、とびきりの一冊を探してみませんか。新しい本でも、いつか読んだ本でも、あなたの生活に彩りを与えてくれるでしょう。春は出会いに満ちた温かな季節です。みなさまにとっても心躍る春となりますように。

かしこ

～今月のラインナップ～

Calendar

2026年4月・5月カレンダー

LiLian Special Info.

図書館ビンゴ 図書館を巡ってスタンプを集めよう！

今月の一冊

『八朔の雪 みをつくし料理帖』 高田郁 / 著

LiLian Interview

相川裕亮先生（国際情報学部 国際情報学科）

2026年
4月

開館時間
★8:45-19:30
○9:00-16:30

2026年
5月

開館時間
★8:45-19:30
○9:00-16:30

日	月	火	水	木	金	土
			1 ○	2 ○	3 ○	4 休
5 休	6 ☆	7 ☆	8 ☆	9 ☆	10 ☆	11 ○
12 休	13 ☆	14 ☆	15 ☆	16 ☆	17 ☆	18 ○
19 休	20 ☆	21 ☆	22 ☆	23 ☆	24 ☆	25 ○
26 休	27 ☆	28 ☆	29 休	30 ☆		

日	月	火	水	木	金	土
					1 ☆	2 ○
3 休	4 休	5 休	6 休	7 ☆	8 ☆	9 ○
10 休	11 ☆	12 ☆	13 ☆	14 ☆	15 ☆	16 ○
17 休	18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆	22 ☆	23 ○
24 31 休	25 ☆	26 ☆	27 ☆	28 ☆	29 ☆	30 ○

最新の情報はHPをご確認ください



学生・教職員
の皆さん

返却期限の延長はスマホから行ってください

① My Library



② 貸出・予約状況



③ 更新



④ OKで延長完了



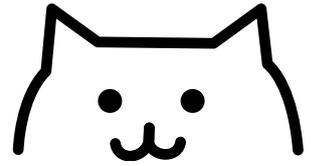
延長は2回までOKです！

ただし1冊でも期限切れがあると、全ての資料が延長できません。
予約が入っている資料も延長できません。



図書館ビンゴ

図書館を巡って
スタンプを集めよう！



図書館ビンゴは、館内を歩きながらスタンプを集めるイベントです。

普段はあまり行かない場所や、知らなかったサービスを見つけるきっかけになるかもしれません。
気軽に参加して、図書館をもっと身近に感じてください。



2026年5月30日までの期間中、図書館内に設置された9つのスタンプをすべて集めると、大学オリジナルバッグをプレゼント☆
すべて集めたら、レファレンスカウンターまでお持ちください！！
開館日の16:30まで受け付けています。

*金城生限定

⑨グループ学習
コーナー

4 F

⑦学術雑誌コーナー
⑧英語多読レベル1
⑥日本文学

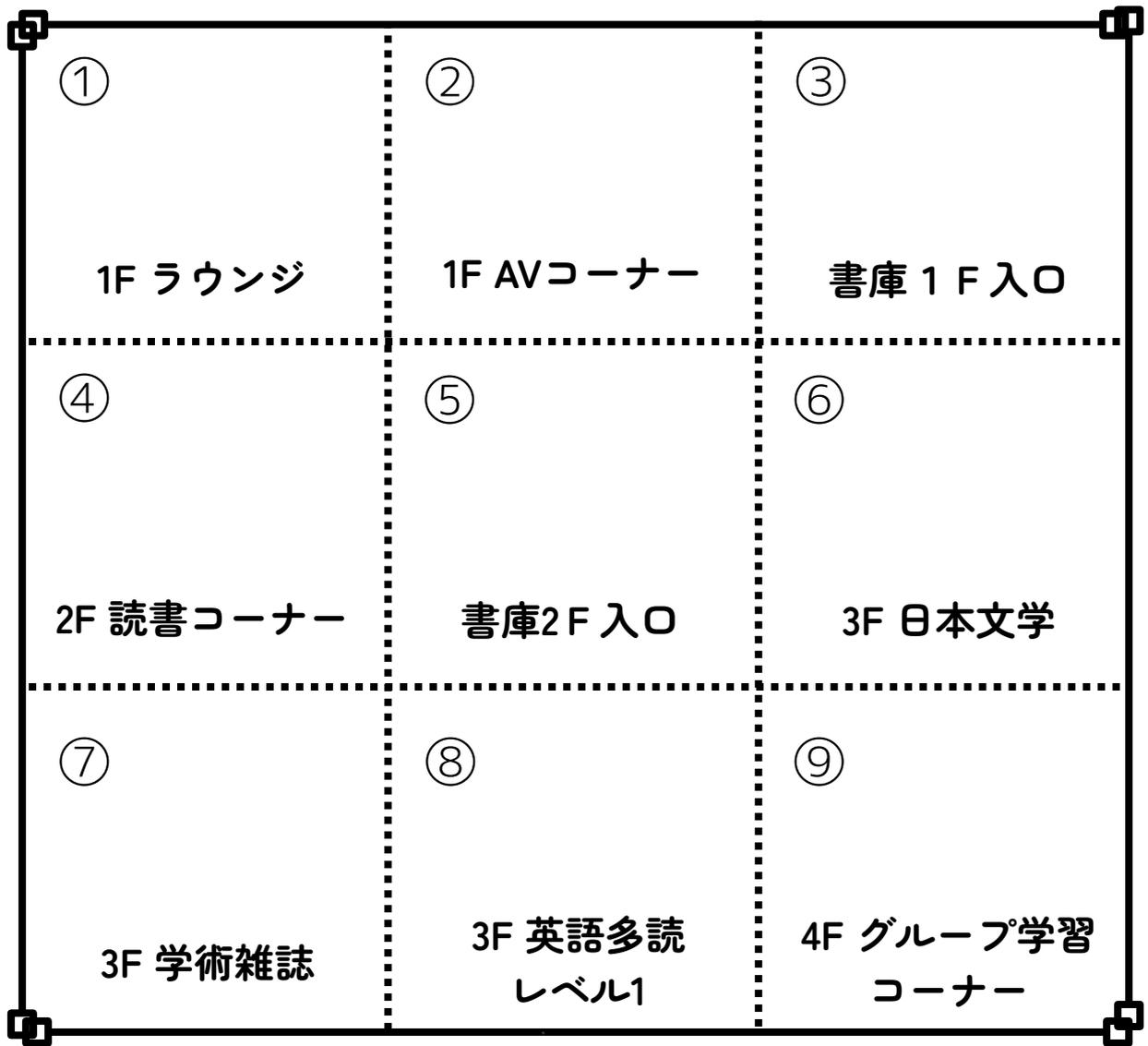
3 F

⑤書庫2F入口
④読書コーナー

2 F

③書庫1F入口
①ラウンジ
②AVコーナー

1 F



♪ここにスタンプがあるよ♪

- ①ラウンジ♪ ゾウの近くを見よう
- ②AVコーナー♪ マトリョーシカの近く
- ③書庫 1F 入口♪ 初めて入る人が多いかな
- ④読書コーナー♪ 柔らかい椅子があって、とても落ち着く空間だよ
- ⑤書庫 2F 入口♪ 1Fとは違う入口だよ
- ⑥日本語学、日本文学♪ 閲覧室 3Fの 1 番奥だよ
- ⑦学術雑誌コーナー♪ 卒論で使えるような雑誌がたくさん
- ⑧英語多読本コーナー（レベル1）♪ 楽しく英語の勉強ができるね
- ⑨グループ学習コーナー♪ 勉強してる人がいるよ静かに押そう
(おとね、あゆみ)

LiLian Interview

大好きな先生に
インタビューに
行こう71

国際情報部 国際情報学科

相川 裕亮先生



1. 海外出張の目的や一日の流れ

目的は、大きく分けると二つあって、一つは資料調査、もう一つは学会への参加です。資料調査のときは、図書館や資料館に行き、手紙や新聞などその場でしか見られない資料をひたすら写真に撮っていく感じです。開館時間の間はもうずっと集中して作業してまゐります。観光っていう観光はほとんどせずに、肩とか腰が痛くなるくらい作業してることが多いです。学会のときは自分の発表をしたり、他の研究者の発表を聞いたり、交流イベントやツアーに参加したりします。発表前日は特に練習に時間を使っていて、忙しいけど研究者同士のつながりを作れるのが学会出張の大きな意味ですね。

2. 移動中の過ごし方

アメリカへのフライト時間は、目的地によって幅があり、10~16時間くらいかかります。正直、機内ではほぼ寝られなくて、うとうとする程度で、本を読んだり、映画をばーっと見たりして過ごします。学会に行くときは、発表原稿を読んで直したり、発表の練習をします。機内食は最初に軽食、そのあと食事、到着前にまた軽食が出る感じです。内容は航空会社によって様々ですが、やはり日系の航空会社の方が、自分の口には合うなと感じます。航空会社自体にはあまりこだわりがなくて、乗り継ぎの利便性やその時に一番安いところを選ぶことが多いです。

3. 「アメリカに来たな！」と思う瞬間

アメリカへ行ってまず驚くのは、飲み物のサイズが大きく種類も豊富なことです。モンスターエナジーやレッドブルに限らずエナジードリンクが日本より圧倒的に多く「いかにもアメリカだな」と感じます。ファンタやドクターペッパーもフレーバーが多彩で、スーパーの棚を眺めるだけでも面白いですよ。あとマクドナルドで「ビッグマック買うともう1個ついてくる」みたいなプラスワンの文化もあって、量の感覚が違うなと思います。

4. 高校時代の楽しかった行事

高校時代は、学校行事も楽しかったのですが、個人的には友達と出かけた思い出が結構残ってます。オープンキャンパスに行くという名目で、友達と「青春18きっぷ」を使って東京や大阪へ行ったり、夜行列車の中でずっと喋り明かしたりしたのが本当に楽しかったです。学校行事だと、文化祭と体育祭をまとめてやる学祭があって、1年生の時は学祭委員で門を作ったりしました。クラス全員で一つのものを作る作業は大変でしたが、完成して4日間飾られるのを見ると達成感がありましたね。修学旅行は北海道で、北海道のアニメイトに行ったのもよく覚えています！

5. 大学時代に熱中していたこと

大学時代は一人暮らしだったので、サークルの仲間と朝から晩まで一緒に過ごすことが多く、部室へ行って、ご飯を食べて、そのままカラオケへ行く...といった生活でした。学生街だったので夜11時から5時間1,000円といった格安のプランがありました！また、一番熱中していたのは政治思想のゼミです。先生がとても面白い方で、毎週水曜日はゼミの後に決まって飲みに行っていました。ゼミではキリスト教や政治思想の文献を読み込み、かなり真面目な議論を交わしていましたが、それがとにかく楽しかったです。本を探して神田神保町の古本屋を回るようになったのも、この頃からですね。

6. 座右の銘

座右の銘は「後悔しないよう、自分で決める」です。人って、周りが色々アドバイスをくれますが、最終的に決めるのは自分自身です。他人に言われたから選んだと思うと、上手くいかなかった時に後悔が残ります。でも自分で決めたことなら、失敗しても納得できる。自分の好きな分野なら、途中で辛くなっても続けられますし、それも含めて自分の選択だと思えます。テーマ選びでも進路でも、最終的には自分で決めることが大事です。

7. 好きなポケモン

僕は初代の赤・緑・青世代です。小学生の頃、半年間の入院生活をポケモンと共に過ごしたことが深く記憶に刻まれています。一番好きなのは、最初に選んだフシギダネ。フシギソウ、フシギバナへと進化していく過程も含め、今でも特別な存在です。最近、コロナ禍の折に昔を思い出し、ポケモンカードの収集も再開しました。

8. 大好きな一冊

大好きな一冊は、丸山眞男の「人間と政治」です。人間は完全に善でも悪でもない存在なんだ、という考え方に深く納得しました。同じ人間でも、良い時もあれば悪い時もある。その前提で政治を捉える視点が、とてもリアルに感じられたんです。自分が政治や社会に関心を持つようになった原点は、間違いなくこれらの本にあります。

★インタビューを終えて★

先生の座右の銘である「後悔しないように自分で決める」という言葉と、その考え方を伺ったのがとても印象に残っています。他者の意見を参考にしつつも、最終的には自分で選んで決めることの大切さに気づかされました。また、先生のお仕事の話だけでなく、ポケモンや母校のお話でも盛り上がり、先生のことをより身近に感じる事ができました。(あゆみ)

海外未経験の私にとって、実際のアメリカの様子は大変興味深かったです。インタビュー記事では割愛しましたが、博物館などで間近に撮影や鑑賞ができる点には驚きました。また大学時代、ゼミや遊びに全力だったお話を伺い、私も先生のように、好きなことをとことん楽しんで過ごしていきたいと強く思いました(なつき)



『八朔の雪 みをつくし料理帖』

高田郁／著

請求記号 913.6/Ta288/ (1)
閲覧室2F (読書コーナー文庫)

水害で家族を失い、天涯孤独となった漣。大坂随一の料理屋へ奉公に出た彼女は、天性の味覚を見込まれ、厳しい修行の中で腕を磨いていきます。しかし、店の焼失を機に江戸へ渡ることになり、さらには店主を亡くすなど、幾度も過酷な試練が立ちはだかります。やがて江戸の蕎麦屋「つる家」で働き始めますが、上方と江戸の味の違いから、漣の料理はなかなか受け入れられません。それでも諦めず、工夫を凝らし、心を込めて料理を作る漣。そのひたむきな姿勢は次第に人々の心を動かし、「つる家」は評判の店へと成長していきます。料理が人と人を結び、心を通わせていく温かな時代小説です。巻末に収録された「漣の料理帖」のレシピも大きな魅力。ぜひ、漣が切り拓く希望の歩みに触れてみてください。(ひなこ)



「四季の女の子葉」に

ニューバージョンが登場!

大人気の葉シリーズに、四季のお花をテーマにした新作が仲間入りしました。桜、ライラック、ネモフィラ、朝顔、ゆり、マリーゴールド、薔薇.....。

あなたはどのお花がお気に入りですか?

今回はさらに、金城学院高校の制服バージョンも登場!

校章の「ゆり」をあしらった、ここだけの特別なデザインです。

図書館1F「リリアン選書コーナー」で配布中です。

お気に入りの一冊に、季節の彩りを添えてみませんか?

